

竹内病院 だより

7月号

医療法人
社団仁和会



竹内病院

宮崎市霧島2丁目260

TEL(0985)26-0123 FAX(0985)26-8791

ドクター

Dr.に聞く!【第105回】

消化器外科医師 豊永 健二

先日、福岡や大分にて大雨による河川の氾濫や土砂災害にて死傷者がでる大きな災害がありました。現在も不明者の捜索が続いています。道路や橋の損壊も甚大なようで捜索や復旧作業にも時間がかかるようです。隣の県での災害であり、もし梅雨前線がもう少し南下していたら宮崎県が同様な被害であったと思われます。被災者・被害者の方・ご家族の方へお見舞い申し上げます。早い復旧をお祈りします。

「虫刺され」

最近報道でも注意喚起されていまして、今回は「虫刺され」について再掲します。一般的に「虫刺され」とはカやノミに刺されたことによって生じる、かゆみの強い赤いブツブツ、という印象があると思います。刺された痕だけ診ても何に刺されたかまでは不明なことが多いのが事実です。以下に代表的なものを説明します。

●**ハチ** ヒトを刺すものとしてミツバチ、スズメバチ、アシナガバチが代表的です。ミツバチだけは刺した針を残しますので、消毒と共に針を除去する必要があります。スズメバチ、アシナガバチは夏から秋にかけて活発化して被害が増加します。刺された局所を冷やすのが効果的です。ハチ刺されでは、まれに気分不良、呼吸困難を引き起こすアナフィラキシー反応を起こす場合があります。アレルギーを起こす一般人の確率は約0.12%、林業に従事している方では約14.4%と高いという報告もあります。アナフィラキシー反応が出た場合は救急車で医療機関受診が懸命です。

●**ダニ** イエダニによるものでは脇腹や太ももの内側など体の柔らかいところにかゆみの強い赤いブツブツができる程度です。秋は山に入ってマダニに咬まれる患者さんも多いです。マダニはリンパ節が腫れたり高熱が出たりする、ライム病やツツガムシ病の原因菌を有しています。無理に引きちぎると頭だけが刺し口に残ることがあります。医療機関で除去してもらいましょう。ライム病やツツガムシ病では入院管理が必要な場合もあります。

●**ケムシ** チョウやガの幼虫で、『有毒毛』を有するケムシによるもの。強い発赤、かゆみの特徴です。『有毒毛』は0.1~0.2mm程の微細なもので、幼虫1匹に数十万以上有するものもあります。秋には庭木にいるチャドクガの幼虫による被害が多いです。ピリピリとしたらセロハンテープ等でできるだけ皮膚についた『有毒毛』を取り除き、泡立てた石けんシャワーでよく洗い流してください。

●**ムカデ** 夜行性で家の中での被害もあります。痛みは強いですが、毒はなく局所を冷やすと効果的です。

●**ハネカクシ** 河川周囲の草木や夜間の灯りに近づいてくるアリのような形をした小さな虫です。体液には強い毒があり、皮膚に触れるとやけどのように赤く腫れ強い痛みがでできます。虫が小さいため自分で気付かず、虫をつぶして体液がついてやけどみたいになることが多いです。私は大学生の頃、この虫が服の中に入って広いやけどとなり、2週間程泣いて過ごしたことがあります。

●**マムシ** 夏場の被害が多いのですが、南国宮崎では春から秋まで遭遇します。湿気を好みますので濡れたところや雨上がりが要注意です。もし咬まれたら、まず咬まれたところよりも心臓に近いところをヒモやハンカチで結び、それ以上に毒が広がらない努力をします。咬まれた傷から血を押し出すのが効果的です。逆に出血を止めようとする毒が回りやすくなり逆効果です。その上で医療機関を受診しましょう。1時間以上経過しても腫れない場合は毒液が入っていない可能性が高いです。マムシの抗毒素は毒素が広がった重傷な場合には使用します。

レジャーや屋外での活動の際は不用意に肌を露出させないよう、また服の中に虫が侵入してこないような対策が必要でしょう。何かご不明な点等あればスタッフまでご相談下さい。

平成29年度「新人看護職員研修」を受講して

看護部 看護師 坂本 竜馬

平成29年4月24日に宮崎市郡医師会病院で平成29年度の「新人看護職員研修」を受講しました。内容は、もう怖くない救命処置です。今回の研修を受けて、救命処置の基本的知識、手技を学ぶ事ができました。

今回は一次救命処置の手順について一通りの手技を学んだ後、各グループに分かれて胸骨圧迫、気道確保、バックバルブマスクを用いての人工呼吸を一人ずつ行ない、メンバー同士で声掛けをしながら手技の確認をしました。

実際にマスクを使用して人工呼吸の手技を行なってみると一人でマスクを保持して行なう方法は手の位置と押さえ方に工夫が必要で、思った以上に難しいと感じました。

メンバー同士での確認後は、それぞれ一人ずつ実際の場面を想定して意識確認からAED使用の手技までの指導者による評価が行なわれました。

私の想定された場面は、横断歩道の上で突然倒れた人への対応の場面でした。

私は無闇に動かしてはいけないと考え周囲の人達に車を止めてもらう様に指示を出したが、こういった周囲に人が沢山いる様な場面ではその人達の手を借りて安全な場所へ移動する事が得策だという事を御指導頂きました。

このように様々な場面があり、その場に運良く人通りが多ければ良いが、もしかすると自分しか周りにいないという事もあるかもしれません。その場の置かれた状況を理解し、どう対応するべきか瞬時に判断する力が求められると感じました。

今後このような場面に遭遇した時に、今回の研修で学んだ事を活かし、的確な判断、救命処置を行なっていきたいと思います。

退院に向けた取り組みについて

地域連携室 長友 あかね
山口 知子

当院では、急性期の治療を終え、病状が安定した患者さまに対して在宅や介護施設への退院に向け、医師、看護師、理学療法士、地域連携室スタッフなど、チームで支援を行っています。具体的には、退院に向けて介護保険申請の手続きの支援や担当の介護支援専門員、地域包括支援センターのスタッフと協力しながら、不安なく退院ができるよう社会資源の利用や生活環境の調整を行っています。院内で退院前に多職種で、話し合いを行うことも増えてきました。

退院に向けて、より積極的に支援する地域包括ケア病床も6床あり、病院スタッフのチームでの支援に、より一層努力を重ねているところです。

退院に向け、何か不安なことがありましたら、遠慮なく地域連携室スタッフへお声かけください。

新入職員歓迎会

理学部 理学療法士 次松 数博

6月17日土曜日に竹内病院とむつみ苑の合同による新入職員歓迎会(第一部 ボウリング大会、第二部 食事会)が開催されました。宮崎エースレーンで行われたボウリング大会には63名の方が参加し、ハイスコアを目指して熱戦が繰り広げられました。そして気になる63名の頂点に立った優勝者のスコアは、個人の部が301点(2ゲームの合計)、団体の部が482点(2ゲームの合計)でした。新入職員や家族連れのお子さんたちの健闘も見られ、表彰の際にはより大きな拍手が起こっていました。

食事会は山形屋のワールド・グルメバイキングアレッタで行われ、149名の方が参加されました。当日はアメリカ大陸横断フェアが開催されており、ミートパイやハニーマスタードチキン等をはじめとした風味豊かな料理が並びました。みなさん自分好みに料理を盛りつけると、職員同士での会話も弾み笑いの絶えないぬくもりのある時間となりました。

今回、ボウリング大会と食事会を通して、職場という垣根を越えた交流も生まれ新入職員の方にとっても印象に残る一日となったのではないのでしょうか。お忙しい中、時間を割いて参加して下さいました。本当にありがとうございました。



病院対抗バレーボール大会

看護部 准看学生 津隈 亮孝

6月10日に開催された病院対抗バレーボール大会に竹内病院も出場しました。私は選手としてこのチームで出場しました。今回はAパートからCパートまである中で、Bパートからのスタートとなりました。Bパートでは、竹内病院・事務長会チーム・野崎東病院の3チームの総当たり戦で行われました。前回Aパートで当院は試合に挑みましたが、5チーム中最下位という結果で大会が終わり、今回Bパートでの試合となりました。今回の大会でBパートで優勝をし、次回の大会では、Aパートで優勝をする事を目標に練習を頑張ってきました。結果は優勝でした。次回の大会からレベルが上がる為、これからもチーム全員で練習し良い結果が出せる様に頑張ります。

当院のバレーチームの皆さんは、とても優しく楽しくバレーが出来ます。体の運動や興味のある方は是非参加して下さい。バレーが嫌いな人でも楽しめます。

今年も七夕の季節がやってきました。七夕とは「たなばた」または「しちせき」と読み、古くから行われている日本のお祭り・行事で、一年間の重要な節句をあらわす五節句の一つと数えられます。

皆様もご存知の七夕ストーリーとは、“織姫と彦星が一年に一度天の川で再会する”という様な内容ですが、元々は七月七日に天の川をはさんで二つの星が最も光輝いているようにみえることから中国で一年に一度のめぐり会いの日と考えられるようになったのが物語の発祥といわれているみたいです。

さて、竹内病院では、今年も七夕飾りを用意しました。患者様の願いを込めた短冊を一枚・一枚願いが叶う様に大切に飾っています。短冊を飾った笹をみて、患者様、ご家族の方々が幸せな気持ちになれば幸いです。

私は、子供の頃毎年七夕飾りをしていたのですが、大人になるにつれ多忙になりしなくなっていました。そんな時に偶然にも竹内病院で七夕の行事を行っていました。その事で、子供の頃の思いが蘇りました。また少し心に余裕も出来てきて、今ではこの季節が楽しみになりました。そして日本古来の伝統行事を守り、次につなげていく事の大切さ・重要さという事を改めて思いました。

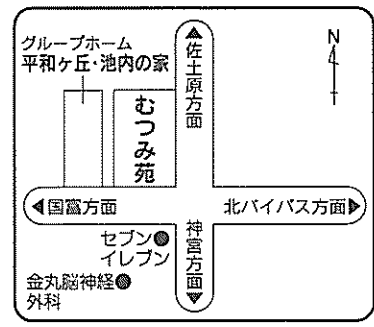
皆様は、今も七夕をやられていますか？
童心に戻って家族で七夕をやられては如何ですか？きっと願いが叶うと私は信じています。



お知らせ
お盆の期間中も通常通り診療を行います。

関連施設
介護老人保健施設
むつみ苑
【施設定員/入所:80名 通所:20名】
施設長 面高 美津子
宮崎市池内町伊勢嶺1344番地
TEL(0985)39-9200 FAX(0985)39-9506

グループホーム 平和ヶ丘
TEL(0985)30-2855
グループホーム 池内の家
TEL(0985)39-6623
大宮在宅介護支援センター
TEL(0985)36-3170
宮崎市大宮地区地域包括支援センター
TEL(0985)61-1789



呼吸器外科・呼吸器内科・消化器外科・外科
内科・肛門外科・循環器内科・放射線科
リハビリテーション科
保険医療機関
医療法人社団 仁和美
竹内病院
理事長 竹内 茂
〒880-0032 宮崎市霧島2丁目260番地
TEL(0985)26-0123 FAX(0985)26-8791 URL : <http://www.zinwakai-takeuchi.com/>

診療時間
■平日/午前8時30分～正午
午後1時30分～午後6時
■土曜日/午前8時30分～正午
※急患は随時受付いたします※
■休診日/日曜・祝祭日
■健康診断、随時受け付けております。

